



SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

週報 No. 6

2022.9.14(No.3129)

再生・新生・共生

第2560地区ガバナー／高橋 秀樹
 会 長／西山 徳芳
 会長エレクト／吉井 直樹 (クラブ奉仕A)
 副 会 長／野崎喜一郎
 幹 事／梨 本 次 郎
 S A A／石 黒 良 行
 会 計／五十嵐博宣
 直 前 会 長／歸 山 肇
 会長ノミニ／渡 辺 良 一 (クラブ奉仕B)

例会日／毎週水曜日 12:30～
 例会場及び事務局／
 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内
 例会場／TEL 34-3311
 事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095
 E-mail: sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
 http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
 (~はshiftを押しながら“へ”のキーを
 押してください)

- 本日の出席会員数:57名中43名
- 先々週出席率:75.44%

【先週のメイクアップ】

- [9.8] 三条ローターアクトクラブへ
・梨本次郎さん、小林卓哉さん
- [9.11] RA地区行事及び
第2回会長幹事会議へ
・相場弘介さん
- [9.11] 米山ガバナーエレクト事務所
開所式(三条)へ
・松永一義さん、若槻八十彦さん、
・丸山行彦さん、西山徳芳さん、
・梨本次郎さん
- [9.13] 三条北RCへ
・野崎喜一郎さん



イマジン
ロータリー

2022～2023 年度国際ロータリーのテーマ



会長挨拶

西山徳芳 会長



先日、早くも来年度の米山カバナーエレクト事務所の開所式が行われました。渡部 宏会員、今日は卓話ありがとうございます。

私の本業は段ボール箱の製造になるわけですが、縁がありまして紙製のお神輿を作り、販売をしております。まったくの素人が神様の乗り物である輿を作ることになったわけですから勉強させていただきました。きっかけは何処にでもある平凡な話で、小学生が夏休みの行事の一つとしてスーパーから古い箱をもらってきて作るのですが、空き箱ですから中身の品物の印刷がつき、材質も不揃いで、時に汚れもありました。子供が一生懸命作るものですから親は良くできたねと褒めますが、内心もっと美しくできたほうがよかったと思うでしょう。

「仕方ないよね、使った箱をもらってきたのだから。」と気持ちを納得させるのですが、我が子があんなに手間をかけたのだから装飾は良いが、基礎の輿がダメだね、もっときれいに出来てほしかった、と思うのが常です。

そんな中の一のお母さんがたまたま私の知り合いで、西山に頼めば、箱屋だから新品の段ボールで作ってくれる、ついでに板を加工して土台になる部分をプロの技で形にしたら、装飾だけすれば済むと、お代は払いますから作っ

てくださいと言ってきた。受けた私も安易にできると思いスケッチを書いてみた。今の世ですからネットで検索してみたら、あるわ、あるわ、大小さまざま、中にはプロが販売しているキットもあり、さっそく作って会社の中に飾っておいたら社員さんが勝手に手を出し、屋根が直線で禅宗のお寺のように真直ぐでなくいわゆる、神社屋根のように反り返りがある唐波風の屋根を作ってくれました。なるほどカッコよくこれなら喜んでもらえる。反応は良く、これを納めることができた。

神輿について調べてみると日本列島の中で東西の差がある。西日本では神輿も多くあるが、京都の祇園祭に代表されるような山車のようなものが好まれるようである。東日本では村上の「おしゃぎり」のような山車形式は珍しい方で、神輿が好まれる。また、県によって神社などの数の多い県と少ない県があることが分かった。新潟県ではとても多く沖縄では大変少ない。明治の初めに今の県知事にあたる県令と言われる人がいて沖縄では多くを整理しました。戦争で失われたところが多いようだ。

新潟においては神社を整理することよりも他のことに力が入りほとんど整理がなされず一つの集落に必ず一つはあるようだ。

また、神輿を売り込みに上京し浅草の専門店街を廻って商談をしたら、東北太平洋沿岸では3.11の震災で多くの神輿が失われ、それを復元するために国も多くの助成金を出していたようだ。

復元に関しては昔の写真を資料にし、以前あったものと同じ、中には文化財的価値のあるみこしもあり、建造に5年から7年かけて復元工事をしていることが分かった。立派な漆塗りで、5億円もするような高価なものも、復元しているようだ。

神輿について地域による差があることが分かり、装飾、行列の仕方練り方にいろんなことがある、祭りのお神輿を見ることが一層、楽しくなった。

幹事報告

梨本次郎 幹事



◎地区事務所より

「ガバナーノミニー(2025-26年度ガバナー)候補者推薦について」

提出期限 11月11日(金)

◎三条RACより

「9月第二例会のご案内」

日時 19月22日(木)

会場 リサーチコア 4階 異業種交流室

◎次週 21日(水)は、高橋ガバナー公式訪問です。

当日はジャケット、ネクタイ、ロータリーバッジ、地区バッジをご着用ください。

ニコニコBOX

西山徳芳会長

渡部宏会員、卓話楽しみにしています。

栗名月、中秋名月、十六夜と三夜、月下の散歩を楽しみました。

杉山幸英さん

会頭杯ゴルフ大会では、衛藤さん、丸山さんと練習ランドを回ったおかげで入賞する事が出来ました。感謝です。

梨本次郎さん

本日の渡部さんの卓話楽しみにしております。

渡部 宏さん

つたない卓話ですが、本日はみなさま宜しくお願いします。

菊池 渉さん

50肩ということはあるのですが、私は70肩でヒーヒー言っています。それでもビールはうまい!

斎藤弘文さん

9日、片貝の花火大会を見てまいりました。

長谷川徹さん

第7波が落ちついてきました。良かったです。

渡部さんの卓話を楽しみにしてまいりました。

吉井直樹さん

台風の影響の無いように祈ります。

本日、渡部さんの卓話を楽しみにしています。

衛藤泰男さん

先日の商工会議所ゴルフ大会に参加しました。成績はともかくとして商品をゲット出来たので、これでよしと思わねば…

渡辺良一さん

9月10日、会頭杯参加の皆様ご苦勞様でした。楽しいゴルフが出来ました！

渡部宏さん、卓話楽しみにしています。

松永隆夫さん、安達俊明さん、中村和彦さん、石橋育於さん、五十嵐博宣さん、小出子恵出さん、早川滝徳さん、丸山行彦さん、柳取崇之さん

よいことがありました。

スマイルボックスに協力いたします。

小越憲泰さん、齋藤真澄さん、松永一義さん、渋谷政道さん、関川 博さん、石黒良行さん、嘉瀬一洋さん、金子俊郎さん、歸山 肇さん、船越良則さん、落合孝夫さん、明田川賢一さん、高橋 司さん、中林順一さん、外山浩玲さん、小林吾郎さん

渡部 宏会員、本日は卓話ありがとうございます。お話楽しみにしております。

9月14日分 ￥ 37,000
今年度累計 ￥ 211,000



「卓話」

渡部 宏 会員



皆さんこんにちは。2020年に入会いたしました渡部宏です。本日はこのような貴重な機会をいただきましてありがとうございます。もう入会して2年経とうとしてますがコロナ禍での例会中止などであまり会の活動に

参加できてませんでしたので皆様とお話する機会も少なかったのですが今回の卓話で少し距離を縮められれば幸いです。

この伝統ある三条クラブに入れていただけたことや誘っていただいた皆様にはこの場を借りて感謝申し上げます。

また三条クラブには少し縁がありまして私の妻が昔ローターアクトに入っておりまして現三条クラブの皆様の中にも覚えてくれている方がいらっしゃる大変ありがたい限りです。

今日の卓話ですが前半自己紹介で後半は私の生まれ故郷佐渡のことについてお話ししたいと思います。

1965年昭和40生まれの56歳、出身は佐渡市の旧金井町という所では佐渡の真ん中に位置します。父方の実家は代々神主をやっております。趣味は自転車、スキー、ゴルフです。三条に住んで今年で24年経ちました。

高校時代では軟式テニス部に所属しており毎日部活に励んでおりました。母校の佐渡高校ですが野球部が2011年に21世紀枠に選ばれ春の選抜甲子園に初出場を果たしています。

その後18歳で進学のために佐渡に別れを告げ埼玉の城西大学で化学を学んでおりました。

卒業して最初に勤めた会社は製薬会社であるアストラゼネカ社です。なぜこの会社に入社することになったかという就職活動で中小規模の製薬会社に面接に行った際、人事課にたまたま同じ大学の研究室出身の先輩がいらっしゃいまして後で別室に呼ばれ君はうちには来るなもっといい会社を教えてやるからそこに行けと言われ3社教えてもらいアストラゼネカだったら俺の元居たところだから人事部長を訪ねてみるということで電話して面接の予定を作ってもらいました。

私は結構運がいいと自分で思っているタイプなので人生の分岐点でいい人に出会い導いてもらってる気がします。この縁がなかったら三条には住んでいないです。

営業で入社しまして今でいうMRとして活動しま

した。抗がん剤の分野専門の営業になり乳がんと前立腺がんの専任となり外科と泌尿器科がある病院を担当しました。実際は薬の説明ももちろんいたしますが学会のお供の打ち合わせやゴルフ、病棟の旅行の段取りなどなど色々な頼まれごとをいたしました。今はコンプライアンスの問題でそういうことは一切できませんがバブル後期の寛容ないい時代でした。病院というのはいろいろありまして白い巨塔も真っ青な教授選など目の当たりにしたり大変刺激的な仕事でした。この製薬会社で学んだことはこの後の人生にも大変プラスになっています。

1998年に縁あって三条に引越してきました現在の(株)ホイストクレーンに入社しました。当社は1972年創業今年で50年目となります。業務内容は工場などにあります天井走行クレーンや簡易リフトなどの保守点検、修理、据え付けを行っております。現在社員は45名、営業エリアは東は青森から西は北陸三県、長野、愛知までです。10数年前まではまだ新潟県メインで近隣の県も日帰りぐらいでしたがここでも縁がありまして大学の後輩からつくば市の研究施設にもものすごい数のクレーンがあると聞かされ調べてみたところ独立行政法人で研究所も多くそこにはクレーンが必ず設置してありさらにそのほとんどが入札案件で当社も参加してみたところかなりの数のクレーンを落札できこれを機に関東に進出しエリアを広げました。この機会がなかったら今のホイストクレーンはありません。本当に運と縁には恵まれているとつくづく実感します。

青年団体として三条エコノミークラブと商工会青年部に所属しておりました。エコノミークラブは33歳で入会して7年間、青年部は39歳から7年間活動いたしました。三条ではまったく知人がいなかったなのでこの二つの会を通じて多くの方と知り合い、友人もたくさんできました。

佐渡の紹介

新潟県であります独特の文化がある佐渡をいろいろご紹介いたします。

日本海側最大の島、東京23区の1.5倍、海岸線280キロ。人口5万人。昔金山が栄えていた時代は金山がある相川地区だけで20万人いたようです。

気候は対馬暖流が流れているため三条と比べると夏は2、3度涼しく冬は2、3度暖かいです。雪はそれほど降らず積もっても10から20センチぐらい。

交通手段は新潟港からカーフェリーで2時間半、ジェットフォイルで1時間7分。カーフェリーは2隻体制でときわ丸とおけさ丸が就航しています。ときわ丸は新しくきれいですが時化のときはおけさより揺れます。冬場はおけさ丸がよいでしょう。どれく

らいの波で欠航するかというとフェリーで6メートル、ジェットフォイルで4メートルぐらいです。欠航が続くと物資が不足してスーパーの棚も空が目立つようになり新聞が2日間来ない日もあります。ちなみに佐渡では大学の共通一次試験の会場がないため新潟まで出ないといけないのですが昔船が欠航で会場に行けない受験生がいたため急遽巡視艇に乗って新潟まで行ったという話もあります。

佐渡出身の著名人ですが花角知事、宮田亮平(元文化庁長官、元東京芸大学長)、朝乃若、菊池大稀(巨人軍投手)などで花角さんと朝乃若は私と同じ小学校です。

佐渡の暮らしは？

学校の数は高校は現在は5校。中学校14校、小学校22校あります。

三条の小学生はよく佐渡に修学旅行に行きますが私たちのころは小学で月岡ヘルスセンターに行くのが定番で帰りにデパートのおもちゃ売り場で自由時間があり佐渡には売っていないおもちゃにみんな興奮した思い出があります。

言葉も独特で佐渡弁といい少し北陸、京都の言葉に似ております。あと言葉の後ろにだっちゃんをつけるのが一般的です。佐渡弁は北前船が寄港しましたので西日本の文化が入ってきてさらに流人の影響もあったと思います。

高校を卒業すると8割の方が佐渡から出ます。その後帰ってくる人は役所の職員や教師、医者など少数です。

佐渡の金山



相川金銀山



鶴子銀山



西三川砂金山



世界遺産登録に向けてすこし雲行きが怪しくなっていますが素晴らしい史跡なのでご紹介します。佐渡の金山とは相川鶴子金銀山と西三川砂金山で構成する鉱山遺跡群。日本最大の金銀山で、総延長は

約400km(佐渡～東京間)。その広大な敷地には、国の重要文化財、史跡、近代化産業遺産に指定されているさまざまな採掘施設が点在している。そんな佐渡鉱山の歴史が始まったのは、1601(慶長6)年。相川の鶴子銀山で銀の採掘をしていた山師の中の3人が金銀鉱脈を発見したと伝えられている。その後、1603(慶長8)年、関ヶ原の合戦で勝利した徳川家康は直ちに佐渡を直轄領に指定。甲斐の出身で金採掘に詳しい大久保長安を奉行に命じ採掘を始めた。1600年代前半の最盛期には年間金400kg、銀40トン以上を産出。突如として日本最大の金銀山となり、ゴールドラッシュが始まったのです。以後幕末まで約270年間にわたり計41トンの金が採掘され、江戸幕府の財政基盤を支えてきた。

一時は金山として有名になった佐渡鉱山ですが、江戸時代中期から産出量が衰退してしまい、そこで、1869(明治2)年明治政府は、西洋人技術者を鉱山に送り込んだ。その甲斐あって、1877(明治10)年には洋式技術を用いた選鉱場と、日本金属鉱山では初めての洋式堅坑(たてこう)・大立堅坑が竣工。近代化のための外貨獲得と貨幣材料の確保を図っていったのです。さらに、1885(明治18)年、明治新政府は、金本位制に基づく近代貨幣制度へと移行するため佐渡鉱山のさらなる増産を目指す。ドイツ式の新技術による北沢浮遊選鉱場の建設、大間港の整備などを次々に行っていきまた鉱山技術の国産化を進めるため1890(明治23)年には鉱山学校も開設。日本の鉱業教育においても重要な施策を行った。その後、1896(明治29)年に三菱合資会社に払い下げられ、佐渡金山は急成長を遂げます。動力の電化などによる機械化を進め、明治後期には年間400kgを超える、江戸時代最盛期並みの産金量にまで盛り返すことに成功した。トータル388年間で金78トン銀2330トンを生産しました。

佐渡の酒蔵



日本酒の酒蔵も5、6件ありまして有名なところだと北雪、尾畑酒造などです。尾畑酒造は閉校に

なった学校で酒作りをしたりと町おこしもやっています。跡を継いだ専務の留美子さんが営業活動してエールフランスのファーストクラスの機内酒に採用されるなど活躍されています。

北雪も有名です。ちなみに俳優のロバートデニロが好きな日本酒で赤泊地区の酒蔵にお忍びできたこともありました。ニューヨークのレストランにも置かれるなど売れております。

佐渡の赤石



佐渡の赤石は、1888年(明治21年)に渋沢栄一翁が兜町邸宅(現日証館所在地)を建てた際に、日本経済の繁栄祈念した縁起石として当地に設置されました。その後、渋沢栄一翁が1908年(明治41年)に三田綱町邸宅(後大蔵大臣公邸、現財務省三田共用会議所所在地)を建て移り住む際にも移設するなど本赤石を生涯大切にしていました。2017年(平成29年)に平和不動産創立70周年記念事業の一環として、渋沢栄一翁の遺志を受け継ぐべく、この赤石を譲り受け、我が国資本主義発祥の地である「日本橋兜町」に設置するに至りました。また三菱創始者の岩崎弥太郎が造った清澄庭園にも佐渡の赤石が飾ってあり時には対峙した二人ですが通じるものがあったのかもしれない。

三大流人(順徳上皇、日蓮上人、世阿弥)

佐渡は流刑地としても知られており当時は政治犯が多く文化人や貴族など位の高い人も少なくない。

順徳上皇

第84代の天皇に即位された順徳上皇は、父である後鳥羽上皇による鎌倉幕府の打倒計画に参画し、承久の乱を引き起こしたものの、鎌倉幕府の執権であった北条義時を中心とする幕府軍によって鎮圧され、乱の首謀者として1221年に佐渡に流されました。在島22年、都へ帰ることは許されず、46歳で崩御されました。行在所であった黒木御所や火葬塚である真野御陵など、多くの遺跡や伝説などが残されています。

日蓮聖人

日蓮宗の宗祖である日蓮聖人は、鎌倉幕府や他の宗教を批判したとして1271年に佐渡に流されました。日蓮上人は墓地の小堂に住んでいました。この地で北陸などから来た他宗の僧たちと「塚原問答」を戦わせ、「開目抄」を著し、市野沢に移されてからは「観心本尊抄」を著し、初めて日蓮宗の本尊とされる法華曼荼羅を顕されたといわれています。在島3年の後、赦免となり鎌倉へ帰りました。島内には日蓮聖人ゆかりの遺跡や伝説などが数多く残されています。

世阿弥

室町幕府の3代将軍足利義満の寵愛を受け、能楽を大成させた世阿弥は、6代将軍足利義教の怒りにふれ、72歳の時に佐渡に流されました。在島中に世阿弥が書いた「金島書(きんとうしょ)」に書かれている元号から、1436年までは佐渡に滞在していたことが分かっています。その後の消息については不明ですが、嘉吉の乱により将軍が暗殺されると配流も解かれ、娘夫婦の元に身を寄せたとも伝えられています。佐渡に能舞台が多いのは世阿弥や金山の繁栄に大きく影響されていました。

佐渡の問題点

人口の減少が挙げられます。私たちの原因もありますが一旦島から出ると戻らない人がほとんどで

す。その上に高齢化の波が押し寄せています。昭和35年には12万人以上いましたが最近では5万人まで落ち込みました。

また観光客も減少しピーク時には年間120万人の観光客が来島しましたが令和元年には50万人まで減少し半分以下に下落しています。それによって繁盛していた大きなホテルや旅館の倒産や廃業も多くなってきています。いくつかの病院も閉鎖され島のへき地に住んでる方たちはわざわざ半日かけて中央部に位置する佐渡総合病院に来る方も少なくありません。

島民の足である佐渡汽船も買収され収益の改善は見込めそうですが結果良かったのかも分からない状態です。

拉致問題もそうです。曾我さんが拉致されたのは真野地区にある川の河口付近でその近くには海水浴場もあります。そこでよく高校生のころ部活帰りに真っ暗になっても浜で遊んだり泳いだりしていたこともあり私たちが拉致されていた可能性もあります。曾我さんは署名活動に一生懸命で佐渡トライアスロンやマラソン大会など人が多く集まる行事などに必ずおいでになり声掛けをしております。早く解決することを願います。

時間になりましたのでこれで私の卓話を終わります。ご清聴ありがとうございました。



次週例会 9月28日

クラブ休会

次々週例会 10月5日

「会員卓話」 嘉瀬一洋 会員

